

PC-9801

乱数を順次抽出する方法

ある範囲の乱数の中からランダムに数値を取り出すとき、同じ数値を取り出さないように乱数を選ぶにはどうしたらよいのでしょうか。

たとえば、壺の中に1から100までの番号が付いた玉が入っていて、それをランダムに取り出して再び壺の中に戻さない場合を考えてみてください。

単に1から100までの乱数を発生させて、それに基づいて玉を取り出していたのでは、同じ値の乱数が発生したときは無駄になってしまいます。

それに、残りの玉が少なくなるにつれて、壺の中に残っている玉の番号に該当する乱数が発生する確率は低くなり、時間がかかりすぎてしまいます。

アルゴリズム

考え方としては、一度発生した乱数はまだ発生していない他の乱数を指し示すようにして、同じ乱数が再び発生しても重複しないようにします。そして、乱数が1個発生するたびに乱数の範囲を1だけ減らしていきます。

アルゴリズムの概略は次のようです。

- ①配列ptr[n]を用意する。初期値は-1とする。
- ②変数guide=1とする。
- ③乱数r(範囲は1~nまでの整数)を発生させる。
- ④ptr[r]が実体(-1)ならば、その値rを取り出し、ptr[guide]を調べ、実体(-1)ならば、ptr[r]=guideとする。虚体(ポインタ)ならば、ptr[r]=ptr[guide]とする。虚体(ポインタ)ならば、以下、実体のときと同様。
- ⑤++guideとする。
- ⑥乱数の範囲を、guide~nまでにする。
- ⑦guide>nなら終了する。そうでないなら③へ行く。

簡単な例題を示しましたので、確認して見てください。

I/Oプラザ

▶ 基本オペレーター-IMPはいつもTurbo-C、ネッパでコンパイルをMS-DOSにかけたいよう、
「このソフトを動かすには」の3ページ目をご覧ください。

<pre> guide ptr [1] [2] [3] [4] [5] [6] -1 -1 -1 -1 -1 -1 内容 a b c d e f </pre>	<p>乱数(1-6)で3発生 よって ptr[3]=c を抽出 ptr[3] が実体だから ptr[3]=*</p>
<pre> ptr [1] [2] [3] [4] [5] [6] -1 -1 -1 -1 -1 -1 内容 a b c d e f </pre>	<p>++guideで2 乱数(2-6)で5発生 よって ptr[5]=e を抽出 ptr[5] が実体だから ptr[5]=*</p>
<pre> ptr [1] [2] [3] [4] [5] [6] -1 -1 -1 -1 -1 -1 内容 a b c d e f </pre>	<p>++guideで3 乱数(3-6)で4発生 よって ptr[4]=d を抽出 ptr[4] が実体だから ptr[4]=ptr[3]=*</p>
<pre> ptr [1] [2] [3] [4] [5] [6] -1 -1 -1 -1 -1 -1 内容 a b c d e f </pre>	<p>++guideで4 乱数(4-6)で3発生 よって ptr[6]=f を抽出 ptr[6] が実体で ptr[6]=*</p>
<pre> ptr [1] [2] [3] [4] [5] [6] -1 -1 -1 -1 -1 -1 内容 a b c d e f </pre>	<p>++guideで5 乱数(5-6)で2発生 よって ptr[6]=f を抽出 ptr[6] が虚体で ptr[6]=ptr[5]=*</p>
<pre> ptr [1] [2] [3] [4] [5] [6] -1 -1 -1 -1 -1 -1 内容 a b c d e f </pre>	<p>++guideで6 乱数(6-6)で1発生 よって ptr[6]=f を抽出 ptr[6] が虚体で ptr[6]=ptr[5]=*</p>

この方法の欠点としては、乱数の個数と同じだけの配列を用意しなければならないということです。

サンプル・プログラム

サンプル・プログラムとして、n個の乱数(範囲は1~5000)を順次抽出する"getrnd.c"を作りました。乱数の個数はパラメータで、

```
A:\getrnd 500
```

のように指示します。パラメータがないと"n=100"になります。

また、実用例としてグラフィック画面を乱数により消去する"getrnd.g"を作りました。

グラフィック画面は640×400ドットで32Kバイトの

